

(別表第4)

第三セクター情報公開資料

1 第三セクター名称等									
名称	株式会社 フォレスタ鳥海			電話番号	0184-58-2888				
所在地	秋田県由利本荘市鳥海町猿倉字奥山前8番地45			FAX番号	0184-58-2333				
設立年月日	平成8年2月20日			HPアドレス	http://foresta-chokai.com/				
2 資本金	60,000千円								
(出資総額)	215,000千円	市出資金	120,000千円	市出資割合	55.8 %				
3 事業内容	1. 秋田県営鳥海観光宿泊センターの管理運営(フォレスタ鳥海) 2. 上記に関する一切の事業								
4 財務状況(令和5年3月31日現在)									
貸借対照表から	項目	金額(千円) 税抜き			損益計算書から	項目	金額(千円) 税抜き		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	71,579	47,188	47,298		総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	253,600	269,630	284,386
	負債	52,546	38,068	33,133		(内市からの補助金・指定管理料)	23,846	25,900	34,544
	(有利子負債)	10,000	7,996	5,992		経常利益	△ 14,492	△ 37,575	△ 18,597
	純資産	19,033	9,120	14,165		当期純利益	24,739	△ 9,912	5,044
	利益剰余金	△ 30,967	△ 40,880	△ 35,835		減価償却前当期利益	24,327	△ 8,677	6,368
5 役職員の状況(令和5年3月31日現在)									
取締役数(うち市出向者・退職者)		9 (退 0)		正職員数(うち市出向者・退職者)		20 (退 0)			
6 第三セクターへの関与の状況(単位:千円 税込み)									
(1) 公的支援(令和5年3月31日現在)									
項目	前々年度	前年度	本年度	備考(目的、内容、算出根拠等)					
①補助金(助成金)	23,846	25,900	37,998	第三セクター運営費補助金ほか					
②利子補給	0	0							
③税の減免額	0	0							
④その他	0	0							
小計	23,846	25,900	37,998						
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額	0	0	0						
⑥出資金、低金利貸付等に伴う機会費用	0	0	0						
小計	0	0	0						
合計	23,846	25,900	37,998						
【参考】指定管理料(税込)	0	0	0						
(2) その他(令和5年3月31日現在)									
項目	前々年度	前年度	本年度						
①損失保証契約に係る債務残高	0	0	0						
②貸付金残高	0	0	0						
③出資金(増資等)	0	0	0						
合計	0	0	0						
7 添付資料 貸借対照表、損益計算書									

※本資料は、第28期決算報告書(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)に基づいて作成したものである。

決算報告書

(第 28 期)

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

株式会社 フォレストア島海

秋田県由利本荘市島海町猿倉字
奥山前8-45

電話 : 0184 - 58 - 2888

報告事項

第 28 期事業報告

(自 令和 4 年 4 月 1 日～ 至 令和 5 年 3 月 31 日)

令和 4 年度は、「あきた県民割」と当社企画の「春の早割プラン」を併用して、販売に取り組んでまいりました。この期間の収入を確保するため、様々なプランを提案し需要を掘り起こしてまいりました。由利本荘市の宿泊助成金支給の補助効果もあった昨年と比べると、本年は観光客の出足が鈍く、それに伴い宿泊者も並行して減少傾向にあった。国は「あきた県民割」対象に北海道を加え、北海道・東北 6 県のブロックに拡大されました。

第 1 四半期は観光客の出控えが響き、売上が伸びず厳しいスタートとなりました。ゴールデンウィークは 3 年ぶりに行動制限は解除されましたが、宿泊割引が全国的に設定除外になるなど、地域によっては人流に大きな差が出たと思われれます。インバウンドは政府が上限 1 万人の入国制限を続けていることもあり、当ホテルへのインバウンド客の実績はありませんでしたが、旅行会社 950 社が加盟するタイ旅行業界会長ら 6 名が冬の鳥海山麓の観光スポットを視察した。非日常的な雪景色を楽しめる地域を売り込もうと市が初めて行った取り組みに協力しました。

昨年まで中止または規模縮小開催の各地の祭典や行事などイベントが 3 年ぶりに制限なしで再開される中、当ホテルも今年度の BBQ は 7 月 1 日にオープンしました。少しずつではあるが個人客、団体客の予約が入りはじめ、賑わいを取り戻す勢いが出てきたのが第 2 四半期でした。その結果、利用件数、売上がともに昨年実績を上回りました。

7月23日からは、「とくとく! ゆりほん宿泊割(3,000円割引)」が再スタートし、ブロック割との併用で一気に宿泊の需要喚起となり、夏休みキャンペーンとの組合せで、グループサイズが拡大しました。

創業25周年を記念したキャンペーンやイベントを精力的に実施したことや宿泊料金を改訂したことが功を奏し、平均客室単価(ADR)が上がり、次第に売上金額に対して、好影響が見られるようになりました。増収の要因のひとつになると考えますが、料理をはじめ商品内容のブラッシュアップが今後は必須と考えています。

紅葉シーズンは通年の中で、最も多くのお客様にご来館頂ける時期です。コロナウイルスの存在が常に気になり、気を緩めれない時期でもありましたが、旅行会社からの送客、また、日帰りのツアー含め一般のグループ宴会も増え人流の動きが活発になり、売上は前年を超える結果を出すことができました。コロナ感染拡大による移動制限も緩和され、心理的にも不安が和らいだのではないかと考えます。

冬期期間に関して、スノーモービル乗車体験や、自然環境を活かしたイベント、並びに魅力を発信できるようなコンテンツ制作への準備を進めるため、スタッフのスノーモービルの研修を実施しました。

当館の広大な自然エリアを活かした冬季コンテンツは、いわゆる「キラーコンテンツ」になることを想定して試みました。

その結果、「楽しかった! 来期も体験乗車に来ます」とスタッフが勇気づけられる声を頂きました。

館内外に設置した無料Wi-Fiをはじめ、ワーケーション設備には、首都圏の企業が視察に見られました。建物は年々古くなっていきますが、宿泊客が快適に過ごせるように施設内の清掃をはじめ、室内の備品などの

確認に失念のないように常に清潔感を維持してまいります。

今後、自然環境を活かしたイベントやコンテンツ制作を通じて、地域の魅力を発信し、観光客の誘致に積極的に取り組んでまいります。また、従業員のスキルアップにも力を入れており、スタッフに対して、ホスピタリティの気持ちを忘れず、お客様にきめ細やかな情報を共有しております。

新型コロナウイルス感染症の影響下において、エージェントへのアプローチやサービスの向上に努め、収益改善に向けて社員一丸となり取り組んでまいりました。その結果ご利用のお客様は増加傾向となり売上は前年を超え、改善効果が見えてきております。

しかしながら、施設、設備の経年劣化による機能低下、故障など重なり燃料・電気の使用量もかかりましになり更には価格高騰の追い打ちもあり、想定以上の経費がかかりました。12月にエネルギー価格高騰対策事業費補助金(3,550千円)、そして鳥海山観光拠点施設として観光振興を図る目的のため、運営経費の一部補助として2月に(20,000千円)の支援をいただきました。

経営指標を悪化させている要因として、施設全体に及ぶ老朽化による設備故障、エネルギー単価高騰による燃料費の支出、そして冬期間の立地条件の悪さにより、交通弱者からの来訪の敬遠、更には最小社員数で運営しており時間外労働が増加している状態にあります。求人活動を行っておりますが雇用まで至っていない状態です。人手不足が一層深刻で運営にあたり大きな問題を抱えております。

当ホテルは鳥海エリアの観光拠点であり、地域の宝であるがゆえ、地域とともに成長し、より多くのお客様に愛されるホテルへと進化させていかなければならない宿命と思っております。

今後は安定した運営と収益を確立するには、全社員の決意と意欲を持って業務に向かい合っていく所存であります。

一年間通して自立運営を目指し、様々な取り組みを果敢に挑戦し、額に汗して走ってまいりました。結果として、売り上げは伸びたことは社員の努力の賜物であります。社員には改めて、感謝申し上げます。

そして忘れてはならないことは応援していただいた、当該役員の皆様をはじめ行政関係者並びに地域の皆様からの支援があったからだと思っております。

併せて、感謝申し上げます。

しかしながら、この間、弊社を退職された社員の補充が出来ていない現状については不徳の致すところであります。

貸借対照表

令和 5年 3月31日 現在

株式会社 フォレストア鳥海

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	42,878,695	【流動負債】	27,140,943
現金・預金合計	23,611,513	買掛金	4,792,353
売掛金	8,753,660	未払金	17,578,470
商品	6,211,172	預り金	1,312,920
貯蔵品	3,848,397	未払法人税等	184,000
前払費用	13,200	未払消費税	3,273,200
未収入金	349,976	【固定負債】	5,992,000
立替金	90,777	長期借入金	5,992,000
【固定資産】	4,418,835	負債の部合計	33,132,943
【有形固定資産】	3,606,875	純 資 産 の 部	
建物	4,202,950	【株主資本】	14,164,587
建物附属設備	321,001	資本金	50,000,000
構築物	1,839,056	利益剰余金	-35,835,413
車両運搬具	1,476,040	その他利益剰余金	-35,835,413
工具器具備品	11,503,963	繰越利益剰余金	-35,835,413
減価償却累計額	-15,736,135	(うち当期純利益金額)	5,044,237
【無形固定資産】	728,000		
電話加入権	728,000		
【投資その他の資産】	83,960		
出資金	30,000		
保証金	50,000		
預託金	3,960	純資産の部合計	14,164,587
資産の部合計	47,297,530	負債及び純資産合計	47,297,530

損 益 計 算 書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

株式会社 フォレストア島海

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売 上 高	239,853,296	
売 上 高 合 計		239,853,296
【売上原価】		
期 首 商 品 棚 卸 高	5,347,237	
当 期 商 品 仕 入 高	59,593,471	
合 計	64,940,708	
期 末 商 品 棚 卸 高	6,211,172	
売 上 原 価		58,729,536
売 上 総 利 益 金 額		181,123,760
【販売費及び一般管理費】		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計		205,951,286
営 業 損 失 金 額		24,827,526
【営業外収益】		
雑 収 入	3,479,702	
道 路 除 雪 収 入	16,017,450	
営 業 外 収 益 合 計		19,497,152
【営業外費用】		
支 払 利 息	79,495	
雑 損 失	52,085	
道 路 除 雪 経 費	13,134,983	
営 業 外 費 用 合 計		13,266,563
経 常 損 失 金 額		18,596,937
【特別利益】		
国 庫 補 助 金 等 収 入	25,035,178	
特 別 利 益 合 計		25,035,178
【特別損失】		
固 定 資 産 除 却 損	5	
固 定 資 産 圧 縮 損	1,209,999	
特 別 損 失 合 計		1,210,004
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		5,228,237
法 人 税 及 び 住 民 税		184,000
当 期 純 利 益 金 額		5,044,237

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

株式会社 フォレストア鳥海

(単位： 円)

科 目	金 額
給 料 手 当	61,231,753
雑 給	16,067,347
退 職 金 掛 金	1,977,680
法 定 福 利 費	10,257,674
福 利 厚 生 費	684,706
リ ネ ン 費	1,829,713
広 告 宣 伝 費	2,625,722
運 賃	124,668
販 売 促 進 費	11,181,510
旅 費 交 通 費	1,373,513
通 信 費	649,708
接 待 交 際 費	133,985
会 議 費	65,464
支 払 手 数 料	11,214,264
諸 会 費	431,868
燃 料 費	18,178,485
水 道 光 熱 費	16,394,870
賃 借 料	4,250,999
地 代 家 賃	10,000
保 険 料	941,600
消 耗 品 費	2,119,418
消 耗 備 品 費	384,122
事 務 用 品 費	730,103
修 繕 費	3,661,456
租 税 公 課	129,250
新 聞 図 書 費	167,568
車 両 費	2,127,520
イ ベ ン ト 費	1,093,792
装 飾 費	171,499
研 修 費	1,231,334
顧 問 料	252,600
保 守 管 理 費	27,193,952
ク リ ー ニ ン グ 費	250,299
清 掃 用 消 耗 品 費	1,687,112
減 価 償 却 費	1,324,114
グ ラ ス 器 費	15,300
印 刷 製 本 費	371,640
雑 費	3,414,678
販売費及び一般管理費合計	205,951,286

株主資本等変動計算書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

株式会社 フォレスト鳥海

(単位： 円)

【株主資本】

資 本 金	当期首残高		50,000,000
	当期末残高		50,000,000
利 益 剰 余 金			
そ の 他 利 益 剰 余 金			
繰 越 利 益 剰 余 金	当期首残高		-40,879,650
	当期変動額	当期純利益金額	5,044,237
	当期末残高		-35,835,413
利 益 剰 余 金 合 計	当期首残高		-40,879,650
	当期変動額		5,044,237
	当期末残高		-35,835,413
株 主 資 本 合 計	当期首残高		9,120,350
	当期変動額		5,044,237
	当期末残高		14,164,587
純 資 産 の 部 合 計	当期首残高		9,120,350
	当期変動額		5,044,237
	当期末残高		14,164,587

個 別 注 記 表

株式会社 フォレストア島海

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価方法は最終仕入原価法に基づく原価法を採用しております。

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却の方法は定額法を採用しております。

法人税法の改正により平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については旧定額法を採用し、取得価額の5%に達した事業年度の翌事業年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度末日における発行済株式の総数 4,300株

収益認識に関する注記

当期の収益を収益の性質等によって区分した場合における区分ごとの収益の金額など

収益を理解するための基礎となる情報

当期及び翌期の収益の金額を理解するための情報